

花葉サマーセミナー2025のご案内

カーボンニュートラルに向けた 花みどり産業の進むべき道

主催：一般社団法人花葉会 <http://www.kayokai.net/>

2025年 8月29日(金) 13:00～16:35

8月30日(土) 10:00～12:45

千葉大学 環境健康フィールド科学センター
BIH A棟 セミナー室 (千葉県柏市柏の葉6-2-1)

詳細・申し込みはこちら



参加費：一般 10,000円, 学生 5,000円

※参加日数に関わらず一律です

懇親会費：5,000円

29日(金)17:00～予定

カーボンニュートラルとは、気候変動（温暖化など）の進行を防ぐための方策であり、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、排出量を実質ゼロにするという考え方である。この超難題の達成は、気候変動の影響を著しく受ける我々の産業にとって、産業自体の持続可能性を左右する課題である。

カーボンニュートラルの達成に向け、国内外では目まぐるしい動きがあるが、残念ながら、花みどり産業の対応は極めて遅い。「我々は、植物を育てているのだから、カーボンニュートラルであるはず、環境にやさしい産業である…」と考えても国際ルール上、単に植物を生産・利用しただけでは、CO₂吸収やカーボンニュートラルとは言えない。

一方、この現状を真っ先に理解し、打開策を見出そうとする研究者、資源の循環利用を通して、高品質な苗づくりと環境負荷低減を両立させる先駆的な生産者がいる。さらに、カーボンニュートラルへの取り組みとして、植物分野をターゲットに研究開発に取り組む大手企業が存在する。彼らが描く花みどり産業の可能性や未来はどこにあるのだろうか？

本セミナーでは、「なぜカーボンニュートラルに取り組む必要があるのか？」からスタートし、「花みどり産業のポテンシャルはどこにあるのか?」、「実現に向けて何が必要なのか?」、この分野の産官学を代表する講師からご講演を頂く。現状とその可能性を正しく理解し、さらに戦うためのルールを知り、カーボンニュートラルを牽引する未来の花みどり産業の姿を共に考えよう。本セミナーが花みどり産業の持続可能性を高める確かな一歩になることを確信する。

講師（講演順）

黒沼尊紀 先生

千葉大学 環境健康フィールド科学センター 准教授
演題：花みどり産業のカーボンニュートラル～定量化が示す未来～

水戸卓也 先生

(株)本田技術研究所 先進パワーユニット・エネルギー研究所
先進エネルギー研究開発室 チーフエンジニア
演題：カーボンニュートラル社会に向けたHondaにおける植物分野での取り組み

竹内勝 先生

(株)竹内園芸 顧問
演題：輸入資材の代替となり得る堤防刈草堆肥を用いた持続可能な野菜苗生産

今井一隆 先生

(公財)都市緑化機構 研究部長
演題：都市緑化による炭素吸収源活動の取り組み

山下圭亮 先生

(株)ヤマシタフラワーズ 取締役
演題：世界農業遺産に認定された落ち葉堆肥農法がもたらす持続可能な花苗生産

土山和夫 先生

積水化学工業(株) R&Dセンター
先進技術研究所 技術アドバイザー

深井知裕 先生

住化積水フィルム(株) 顧問
演題：カーボンニュートラル実現に向けた化学業界の取り組みと新技術のご紹介

東大介 先生

農林水産省 大臣官房 みどりの食料システム戦略グループ
地球環境対策室 課長補佐
演題：農林水産分野における地球温暖化対策に対する取組

後援（順不同）

農林水産省、(公財)都市緑化機構、新しい園芸を考える会、
(公社)2027年国際園芸博覧会協会、(公財)日本花の会

プログラム

8月29日（金）

- 12:30～ 受付開始
- 13:00～13:10 **開会挨拶** 渡辺 均 花葉会会長（千葉大学環境健康フィールド科学センター センター長）
- 13:10～14:00 **講演①** 黒沼尊紀 先生（千葉大学 准教授）
演題：花みどり産業のカーボンニュートラル ～定量化が示す未来～
- 14:00～14:50 **講演②** 水戸卓也 先生（(株)本田技術研究所 チーフエンジニア）
演題：カーボンニュートラル社会に向けたHondaにおける植物分野での取り組み
- 休憩15分
- 15:05～15:45 **講演③** 竹内 勝 先生（(株)竹内園芸 顧問）
演題：輸入資材の代替となり得る堤防刈草堆肥を用いた持続可能な野菜苗生産
- 15:45～16:35 **講演④** 今井一隆 先生（(公財)都市緑化機構 研究部長）
演題：都市緑化による炭素吸収源活動の取り組み
- 17:00～ **懇親会**（別会場）

8月30日（土）

- 10:00～10:40 **講演⑤** 山下圭亮 先生（(株)ヤマシタフラワーズ 取締役）
演題：世界農業遺産に認定された落ち葉堆肥農法がもたらす持続可能な花苗生産
- 10:40～11:30 **講演⑥** 土山和夫 先生（積水化学工業(株)先進技術研究所 技術アドバイザー）
深井知裕 先生（住化積水フィルム(株) 顧問）
演題：カーボンニュートラル実現に向けた化学業界の取り組みと新技術のご紹介
- 休憩15分
- 11:45～12:35 **講演⑦** 東 大介 先生（農林水産省 みどりの食料システム戦略グループ 地球環境対策室）
演題：農林水産分野における地球温暖化対策に対する取組
- 12:35～12:45 **閉会挨拶** 福永哲也 花葉会理事長（豊明花き(株)・(株)FAJ 代表取締役）

申し込み方法

- ・下記QRコードもしくは「花葉会 Base」より、お申し込み下さい。販売チケットには【懇親会参加】と【懇親会不参加】が御座います。ご注意ください。
- ・入金確認後、事務局より参加証と領収書を発送いたします。
- ・直前のお申込みの場合、事務局よりご連絡を差し上げることがあります。
- ・参加日数に関わらず、参加費は一律です。



お申し込み
はこちら！

アクセス

会場：千葉大学環境健康フィールド科学センターBIH A棟 セミナー室
（千葉県柏市柏の葉6-2-1）
柏の葉キャンパス駅より徒歩5分
正門より入構後、右手に見える建物が会場です。
※詳細は、右記マップをご参照ください。
※車でのご来場は出来ません。

お問い合わせ先 （一社）花葉会事務局

〒277-0882 柏市柏の葉6-2-1
千葉大学環境健康フィールド科学センター 内
Tel & Fax：04-7137-8106
E-mail：kayokai@kayokai.net

